

# りょう Caféのご案内

## りょうcafé 政策ラボ

11月25日(金) 18時15分～21時  
@中央公民館第3集会室

11月26日(土) 13時～16時  
@飯山満公民館第2和室

11月17日から平成28年船橋市議会第4回定例会が始まります。今議会で話し合われる議案(条例案や予算案など)を、議決の前に市民の皆さんと一緒に考え、そこで出た疑問や意見を、石川りょうが議会の場で代弁してきます。自分の住むまちについて議員と一緒に考えてみませんか？お気軽にご参加ください。



\*参加費無料  
\*途中入退室可能

## りょうcafé 芝山団地商店街

基本的に毎週水曜日の午前10時から正午まで、石川りょうが、地元である芝山団地商店街の空き店舗前のフリースペースに座り、一対一で市民の皆さんとお話をさせていただき試みます。日々の困りごとから船橋市政へのご意見、世間話まで話題は何でも結構です。是非、お気軽にお立ち寄りください。飯に石川りょうがどなたかと話し中でも一声かけてください。調整いたします。事前の時間のご指定(予約)も可能です。電話やメールでご連絡ください。ただ、水曜日の午前中に公務などが入る場合には別の日に実施となります。

毎週日曜日に至週の開催日時を、ホームページ、ブログ及びツイッターに投稿いたしますので、正確な情報はそれらをご確認の上でいらしてください。市民の皆さんの生の声をお待ちしています！



# 船橋市議会議員 無所属

# 石川りょう通信

## Vol.10

討議資料



## 9月と10月の活動報告



平成28年船橋市議会第3回定例会(以下「3定」)が、8月25日から10月19日まで開かれていたため、9月と10月は必然的に議会での活動が中心になりました。

3定では、新しいまちである海老川上流地区をどのような姿にしていこうかという素案が示されたり(下の図)、船橋市の40年後の財政状況がどうなるのかという推計が示されたりと、船橋市の未来

に関わる重要な報告がなされました。

それらの重要なテーマについて、私が一般質問や、議案質疑、総務委員会で発言したことを中心に報告します。

平成28年船橋市議会第4回定例会(以下「4定」)の会期は、11月17日から12月20日までの予定です。船橋市民の皆さんに最も身近な市政を感じていただくためにも、議会の傍聴などは是非お越し下さい。4定の議題について、市民の皆さんと議会の前に話し合う作戦会議(りょうCafé)にもお気軽にご参加ください(ご案内は裏面)。

## プロフィール

### 【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

### 【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(一期目)

### 【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT) 257点(TOEIC 915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト、政策学校「一新塾」32期生、ふなばし市民大学学校平成26年度ボランティア入門学科



▲外交官時代 スーダンにて

## 連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください！

石川りょう公式サイト  
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。  
発行者:石川亮  
住所:船橋市芝山3-26-1-703  
携帯電話:080-6575-4711  
固定電話:047-463-2690  
メール:info@ishikawaryo.net

この通信でご紹介できている活動内容はほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ

で検索!  
または、  
QRコード  
はこちら →



## 海老川上流地区まちづくり基本構想(素案)





## 海老川上流地区をどのようなまちにしていけるのか？



3定中に、海老川上流地区まちづくり基本構想(素案)が示されました(前ページの図)。新駅を中心に、商業ゾーンや医療福祉施設ゾーン、住宅ゾーンを配置するというまちづくりの絵が示されました。さらに詳しい計画を来年度以降に順次策定し、それをもとに、地権者による組合を作って、土地区画整理事業として進めていこうというのが、市の構想です(平成33年度から実際の工事に着手予定)。

しかし、現在はまだ、約520人もいるという地権者のどのくらいの人数が、この事業を実行することに前向きなのかということ調べている段階です(意向調査)。その結果によって、そもそも事業が実施できるのか否かという根本的なところから、まちづくりの範囲を小さくするといった計画の変更まで様々な可能性が考えられます。

私は、今定例会の一般質問で、「この計画は、多額の税金(現在の市の試算では土地区画整理事業に77.8億円。新駅の建設に49.6億円)を投入する可能性のある事業なので、納税者である市民に積極的に周知し、広く意見を聞くべきだ」と提案しました。市からは、今後、ホームページなどに情報を載せて、市民の皆さんに周知していくという回答を得ましたので、海老川上流地区のまちづくりに対する市民の皆さんのご意見やご質問、アイデアなどをどしどしお寄せ下さい。

## 新高根児童ホームの休館中の代替策について

新高根児童ホーム(年間利用者数はなんと約2万6千人!)が、空調改修工事のため、今年の12月から来年の2月までの3ヶ月間、休館となる予定です。

日頃児童ホームを利用する、特に乳幼児とその親御さんたちにとって、3ヶ月はとても長い期間です。しかも、時期は真冬。乳幼児を長時間外で遊ばせるわけにはいきません。だからといって、自宅内だけでは子どもは飽きてしまう。このような時に児童ホームはとても貴重な遊び場です。

この休館期間中に、乳幼児とその親御さんが利用できる代替施設を確保すべきだと提案したところ、近隣の芝山西小学校の協力を得て、休館期間中の毎週火曜日と水曜日に、乳幼児親子の活動スペースの確保をすることになりました。その中で、リズム体操や読み聞かせ、パネルシアターなどの事業を開催していきます。

今回の芝山西小学校の英断(ご協力)に心から感謝します。しかし、それ以外の曜日は、隣接する高根台児童ホームや飯山満児童ホーム、高根台子育て支援センターの利用をお願いするということなのですが、日ごろ新高根児童ホームを利用している地域の人たちにとって、それらの児童ホームは遠いのです。12月までの間に、他の代替策についても検討するよう強く求めています。



## 児童ホームの休館日を見直す時期に来ているのでは？

船橋の児童ホーム(全20館)は、全て市の直営。乳幼児から高校生までの子どもたちの貴重な遊び場となっています。そんな重要な役割を果たす児童ホームを、さらに便利にするために、運営(休館日など)について提案しました。



児童ホームを利用している私と同年代のパパ友、ママ友たちからは、「月曜日に全館いっせいに休みにになると行くところがない」という声が寄せられていました。そうなんです。乳幼児を抱える親御さんたちが一番困っているのは、月曜日に全館が休みになることなんです。そして、そもそもなぜ月曜日が休みなのでしょう？

最初の児童ホームが開館した昭和42年に「月曜日が最も利用者が少ないだろう」と予想し、それをその後開館した全ての児童ホームにそのまま適用していったのです。

しかし、私がデータを調べてみたところ、日曜日に利用者が最も少ない児童ホームが圧倒的に多いことがわかりました。そこで、私から以下の3点を提案しました。

- (1) 年末年始や祝日以外は毎日開館する(東京23区では実施している例あり)。
  - (2) 休館日を月曜日ではなく、日曜日に変更する。
  - (3) 各児童ホームの事情に合わせて(日曜日に利用者が多い館もある)、各館が休館日をずらす。そうすれば、ある館が休みでも、他の館を利用できる可能性があります。
- 市役所からは、関係部署で検討し、しかるべき措置をしていくという返事でした。

## 船橋市も将来、財源不足に陥ってしまうかも??

3定において、船橋市役所から「将来財政推計について」という報告を受けました。その内容は、公共施設を現在の規模で全て維持保全しようとする、26年後の平成54年度に、船橋市は財源不足に陥る(収入より支出の方が多くなる)というショッキングなものでした。



▲りようCaféの様子

こうならないために、船橋市は、平成28年度中に「公共施設等総合管理計画」を作ります。この中で、将来的には、施設(学校や公民館、福祉施設など)の統廃合や長寿命化などを具体的に検討していくこととなります。

日本全国で少子高齢化が進んでいく現状にあっては、船橋市も現在と同じレベルで公共施設を維持していくことはできません。痛みを伴う改革が必要になります。今こそ、我々市民も、「今後の公共施設はどうあるべきなのか?」、「施設はどこにどのくらい必要なのか?」などについてしっかりと考えていかなければいけないのだと思います。今後、りようCaféなどの機会を通じて、私はこの問題について、市民の皆さんとしっかり話し合っていこうと考えています。